

2022年度 入学者の構成に関するアンケート調査報告

広報・調査委員会担当理事 大麻正晴

本学校協会では、柔道整復師養成施設の入学者動向等を把握し、各養成施設における教育活動、学校運営等に資するために、2010年度から標記アンケート調査を実施しています。翌2011年度からは、より実情に即した状況を把握するため、学校協会以外の養成施設にも参加を呼び掛け、今年度は協会会員校44校に加え12校のご協力をいただき、全国の柔道整復師養成施設の約60%において実施することができました。本調査が各校の養成施設運営の一助になればと存じます。

2020年1月に発生した新型コロナウイルス感染症の収束がいまだに見えず、各養成施設におかれましては、教育活動、学校運営等の対応にも苦慮されている中、ご協力を賜りましたこと、厚くお礼申し上げます。

○実施の目的

全国の柔道整復師養成施設の入学者構成について調査し、その動向を知り、養成施設の運営等の基礎資料とする

○実施の概要

主 体：公益社団法人全国柔道整復学校協会

対 象：全国の柔道整復師養成施設56校 2022年度入学者2,658名

時 期：2022年6月1日～6月13日（調査基準日2022年5月1日）

方 法：インターネット調査

回 答：2,331名（87.7%）

○調査の項目

「定員充足率」、「男女」、「入学試験区分」、「オープンキャンパス・学校説明会（以下OCと略）の参加」、「入学校のOC参加回数」、「入学校以外のOC参加回数」、「専門実践教育訓練給付金の申請」、「学歴」、「年齢」、「柔道整復師の資格を知った時期」、「柔道整復師の資格を何により知ったか」、「柔道整復師を志望した動機」、「入学時における卒後の進路予定」、「入学校への受験を決定した時期」、「入学校を選んだ理由」、「スポーツ経験」、「出身地」、「通学時間」、「勤務形態」、「医療資格」の20項目。地域の特性を表すために全国を4地域に分け、図表化

※2011年度 ・学校協会以外の柔道整復師養成施設の参加

※2015年度 ・課程区分の変更（昼間・夜間）→（午前・午後・夜間）
・「専門実践教育訓練給付金」の項目追加

※2018年度 ・「入学校へのOC参加回数」、「入学校以外のOC参加回数」、「柔道整復師を志望した動機」、「入学時における卒後の進路予定」の4項目追加
・項目の合一、項目区分の追加

※2019年度 ・「柔道整復師の資格を知った時期」、「柔道整復師の資格を何により知ったか」、「入学校への受験を決定した時期」、「入学校を選んだ理由」の4項目追加

※2021年度 ・調査方法を従来の集合調査に加え、インターネット調査を併用

※2022年度 ・インターネット調査方法のみで実施